

令和4年度

佐賀河川事務所予算概要

記者発表資料

令和4年3月

国土交通省九州地方整備局
佐賀河川事務所

【問い合わせ先】

佐賀河川事務所 TEL) 0952-41-8801(代)

技術副所長 なかやま 中山 まさふみ 雅文 (内線204)

事業対策官 やまむら 山村 きたる 覚 (内線208)

佐賀河川事務所 令和4年度の事業費

1. 全体事業概要

国土交通省佐賀河川事務所は、嘉瀬川ダム及び佐賀導水路の管理、城原川ダムの建設事業等を担当しています。

これらの施設を適切に操作し維持管理することで、社会生活を潤していますが、時には災害が発生するなど大変な脅威となることがあります。

佐賀河川事務所では、災害から住民の皆様の生活と地域の経済活動を守るために、自然環境に配慮しつつ嘉瀬川ダム及び佐賀導水路の管理や操作、城原川ダムの建設事業等を行っています。

令和4年度も引き続き被害の軽減に向けた治水対策を推進してまいります。

2. 令和4年度予算

(単位：百万円)

予算区分・費目		令和4年度 当初	令和3年度 補正	令和3年度 当初
嘉瀬川	総合水系環境整備事業費	90	0	57
	堰堤維持費（嘉瀬川ダム）	427	220	411
	計	517	220	468
筑後川	堰堤維持費（佐賀導水路）	755	147	701
	河川開発総合事業費（城原川ダム）	872	386	872
	計	1,627	533	1,573
合計	総合水系環境整備事業費	90	0	57
	堰堤維持費	1,182	367	1,112
	河川開発総合事業費	872	386	872
	計	2,144	753	2,041

※本表は、工事諸費を含みません。

■事業の概要

嘉瀬川ダムは、有明海から30km上流、「緑と清流と温泉の町・富士町」に建設されたダムであり、周辺には北山ダムや檜原湿原といった自然環境資源を有しており、多種多様な動植物が見られます。

ダム湖は、湖面を利用したボート競技等の開催や、湿性地を利用した野外学習など、多様なイベントが年間を通して開催されていますが、段差等が生じ利用しづらい状況となっています。

さらに、令和6年に佐賀県で開催される「2024国スポ(国民スポーツ大会)」では、ボート競技会場としての利用が見込まれていることから、安全に安心して利用できる整備を進めます。

また、水源地域ビジョンの方針である「水恵無限」～水がもたらす恵みを活かしたふるさとづくり～をさらに推進していくため、湖面利用に係る安全施設、基盤整備、環境の保全・活用のための整備を進めます。

■事業の目的

佐賀市の進めるまちづくりの取り組みと連携しながら、ダム湖利用者の安全性の向上、巡視・管理の円滑化を図る。

■令和4年度の予定

法面保護工、管理用通路 等



令和4年度 堰堤維持（嘉瀬川ダム）

■事業の概要

嘉瀬川ダムは、洪水調節、流水の正常な機能の維持、かんがい用水や都市用水の補給及び発電を目的とする多目的ダムです。

■事業の目的

①洪水調節

（ダム地点の計画高水流量 2,200m³/sの内、1,370m³/sの調節を行う。当面は、下流の流下能力に合わせて調節する）

②流水の正常な機能の維持（下流河川の流水の正常な機能の維持と増進を図る）

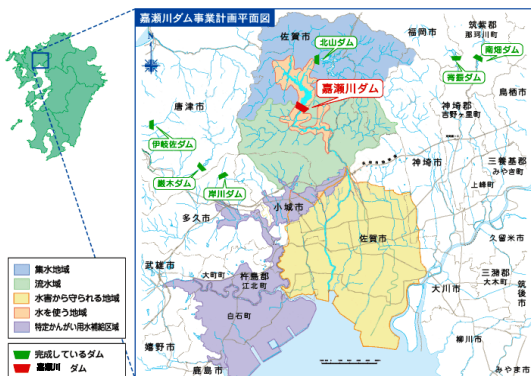
③かんがい用水（国営筑後川下流土地改良事業（佐賀西部地区：4市3町）に対し、最大8.84m³/sの用水を補給する）

④都市用水（佐賀市に対し、1日最大2,000m³（最大 0.023m³/s）の水道用水の取水を可能とする。また、王子マテリア株）に対し、1日最大 3,000m³の工業用水の取水を可能とする）

⑤発電（嘉瀬川発電所（九州電力株）において、最大出力 2,800kwの発電を行う）

■令和4年度の予定

管理設備の点検整備、水文観測、フォローアップ調査（河川水辺の国勢調査等）、流木処理 等



令和4年度 堰堤維持（佐賀導水路）

◆事業の概要

佐賀導水路は、筑後川、城原川及び嘉瀬川を導水路（管路、開水路）で連絡する流況調整河川（総延長：約23km）で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持（河川維持用水・河川水質浄化用水）および水道用水への補給を目的としています。

◆事業の目的

- ・洪水調節（巨勢川調整池は周辺の家屋などの浸水被害及び巨勢川下流部の洪水被害軽減を図る）
- ・内水排除（導水路に設置する8ヶ所のポンプ施設によって洪水時の内水被害軽減を図る）
- ・流水の正常な機能の維持（嘉瀬川及び城原川の流況改善及び佐賀市内の河川への水質浄化用水の補給）
- ・水道用水の確保（佐賀西部地区5市3町への水道用水の補給）

◆令和4年度の予定

佐賀導水路の施設運用及び管理施設の維持・管理

導水路延長：約23km

40年間枯渇していた縫の池 → **湧水が復活した縫の池**

巨勢川調整池の効果（令和元年8月28日洪水）

① 洪水調節の状況
 天気の良い時の調整池
 8月28日一時貯留時の調整池
【出水時】最高水位 +5.36m (8月28日9時20分)

② 巨勢川調整池の一時貯留量
 計画貯水量の「約95%」を貯留

③ 巨勢川下流(学校橋)地点での効果
 巨勢川調整池（計画）
 巨勢川調整池の下水
 巨勢川調整池の下流
 学校橋地点（実測地）
 計画貯水量の「約95%」を貯留
 計画貯水量 T.P. 3.95m
 実測貯水量 T.P. 3.95m
5

巨勢川調整池の概要

【城原川ダムの建設事業】

■事業の概要

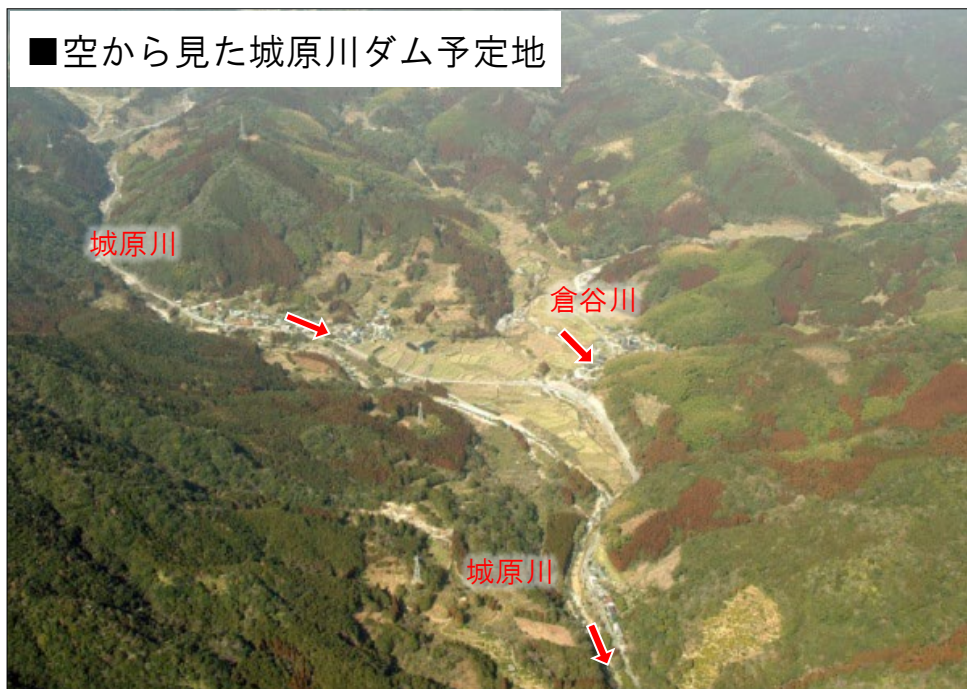
- 1) 概要：城原川の日出来橋地点において、河川整備基本方針に対応した流量 $690\text{m}^3/\text{s}$ のうち $360\text{m}^3/\text{s}$ の流量低減を図ります。
- 2) 河川名：筑後川水系城原川
- 3) 諸元：集水面積 約 42.5km^2 洪水調節容量 約 350万m^3

■事業の目的：洪水調節

■令和4年度の予定

用地調査、本体関連及び付替道路の調査・設計、工事用道路工事等を実施予定。

■空から見た城原川ダム予定地



■城原川流域図

